安否確認システム
O-mori +Plus

携帯電話を用いた災害時安否確認システム
『多守 Plus』

災害時安否確認システムの必要性

日本政府は 2005 年 8 月 1 日、一般企業を対象とした「事業継続ガイドライン第一版」を発表しており、災害時における企業の事業継続の対策の必要性を強調しています。「事業継続計画」とは、災害やテロなどが起こっても事業を継続可能とする計画で、事業を可能な限り短い期間で再開するとともに、迅速な社員の安否確認を行うことが望ましいとされています。災害や事故発生時社員の安否確認を第一とし、事業継続、顧客サービスを継続するためにも災害時安否確認システムが必要です。キー･ポイントでは、災害時の安否確認に加え毎日の業務にも使える「多守 Plus(オオモリプラス)」とともに、災害時安否確認に特化したシステム「多守（オオモリ）」も低コストでご用意しています。是非ご検討ください。

KeyPoint キー・ポイント株式会社
〒650-0023 神戸市中央区栄町通 6-1-17 栄町通佐田野ビル 7 階
[TEL]078-361-1156 [FAX]078-361-1756
[URL]http://www.key-p.com [E-MAIL]sales@key-p.co.jp

このカタログの内容についてのお問い合わせは、キー・ポイント株式会社におたずね下さい。
記載されている内容については、予告なしに変更する場合があります。
このカタログは 2008 年 7 月現在のものです。

緊急時の安否確認に！

大切なのは、継続すること。
そのための、はじめの一歩。
毎日の一歩一歩。

平常時には多くの「便利」 非常時には多くの「安心」毎日を守ります

「まず、社員の安否を確認する。」・・・災害時、事業継続のためにまず行うべき初動対応です。現代では電話と共にメールは、社員との連絡を取る重要な手段です。キー・ポイントでは、携帯電話メールを活用した安否確認システム**「多守 Plus(オオモリプラス)」**をリーズナブルに提供しています。
「多守 Plus(オオモリプラス)」は、災害時だけでなく、日常でも業務連絡や意思確認に大活躍！毎日の業務連絡でも便利に簡単にご利用頂けます。

「多守 Plus(オオモリプラス)」の3大メリット

1 災害時をまず想定したススステムだから、操作が容易！日常使いもラクラク

「多守 Plus(オオモリプラス)」は、災害時の安否確認のために設計されたシステムです。そのため、非常時でも迅速に確実に操作できるよう、容易な操作を実現しました。日常にも役立つ機能満載で、普段の業務連絡での操作が、非常時に役立ちます。

2 管理者にも登録メールアドレスを非公開

個人の携帯メールアドレスを教えたくない・・・個人情報の保護携帯電話のメールアドレスは個人の重要な情報です。「多守 Plus(オオモリプラス)」では、携帯メールアドレスの登録は、防災担当者（管理者）にも公開されず、社員自身でメールアドレスの登録が可能です。また、SSL 通信に対応しているため、大切な情報の保護対策も万全です。

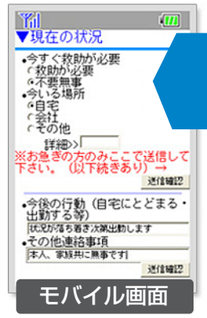
3 携帯電話から操作が可能 (各社の携帯端末に対応しています)

パソコンからだけでなく、お手持ちの携帯電話からも送信可能です。多くの安否確認システムでは、災害時の安否確認のメールはパソコンからの送信のみですが、災害時にパソコンが利用できるとは限りません。
「多守 Plus(オオモリプラス)」では、お手持ちの携帯電話からも送信できます。もちろん、携帯電話からの安否状況の確認、救助が必要な方、名前での絞り込み表示にも対応しています。

毎日の業務連絡に！

「多守 Plus(オオモリプラス)」の活用法いろいろ

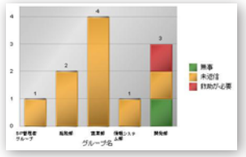
活用法災害編 災害時安否確認

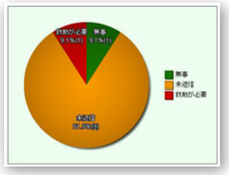


モバイル画面

携帯電話での文字入力なし
クリック操作のみで
自分の状況を即座に連絡可能

災害時に社員の携帯電話へ届く安否確認メールは、煩雑な操作無しで社員の状況を報告することができます。携帯電話での操作に不慣れな方にとってもスムーズに操作できるので安心です。



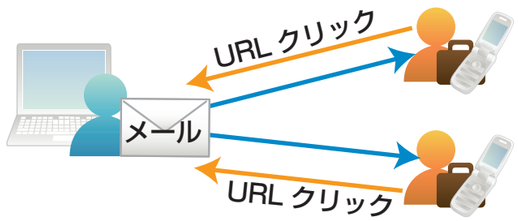


社員からの返信を確認する画面では、返信の状況と内訳を、円グラフや積み上げグラフで
分かりやすく表示、安否の状況が一目で確認することができます。

活用法日常編1 携帯メールの開封確認

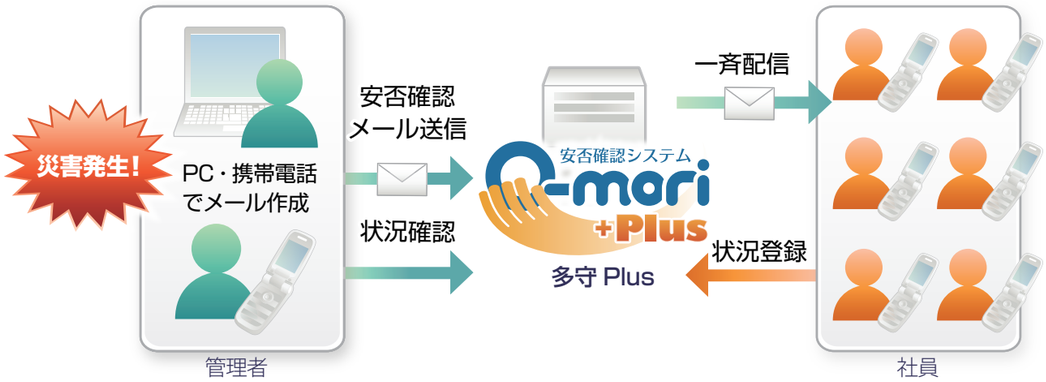
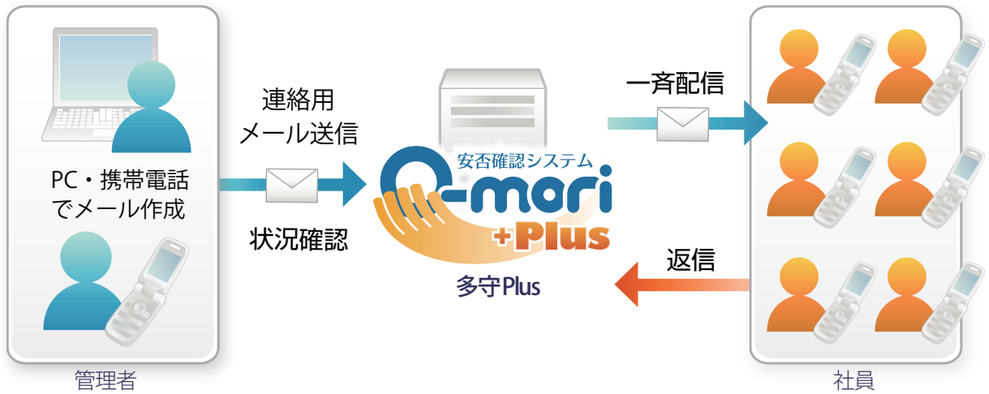
「外出の多い営業社員への連絡に携帯メールを使うと、メールを読んだのか読んでないのかわからない。開封確認があればいいのだけれど ...」
多守 Plus なら、送信メールに記載された URL をクリックして、開封確認に活用できます。

活用法日常編2 会議などへの参加確認



会議や交流会の開催連絡と参加の確認が簡単にできます。管理者画面からは、誰がどんな返事をしているかが一目でわかります。会社の業務連絡の通知、会議の招集、交流会や懇親会の開催に、工夫次第でさまざまなコミュニケーションと確認に活用していただけます。

▼ 災害が発生してから、安否を確認するための流れ



▼ 日常の会議や、交流会等の出席確認をする場合の流れ